



那覇市議会議員  
あらかきよしとよ  
新垣 淑豊

# TaN

Think  
Talk  
about  
Naha

Vol. 2  
2018 Apr

TANとはThink About Naha、Talk About Naha (那覇について考えよう・話しあう!) 「接点」という意味のTangent(タンジェント)から名をつけました。市民と市民そして市民と議会や那覇市が繋がるような情報を伝えたいと思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通してください、ご意見をいただければ幸いです。

## YOSHITOYO's Questions

よしとよの議会報告



議会で取り上げた質問について「なぜ?」その問題を取り上げたか  
「どのように」那覇市が考えているかなどをお伝えしていきます。

代表質問

### 那覇市役所の職員は自治会に入っていますか?

「157」これは那覇市にある自治会の数、市内自治会加入率は「17%」暗がりの保安灯を設置や、災害時の相互扶助など、地域困りごとを近隣の方々で助け合う基礎的な団体です。地域には那覇市役所職員が住んでいるはずなので、職員の自治会加入率を聞いてみたところ、平成21年に全職員対象に調査して2割が回答(少ない...)その内4割が加入とのことです。市職員が地域との関わりを喚起する意味で再度の調査を要望しました。



代表質問

### 那覇市の経済政策は大丈夫か?

現市政の2丁目1番地は経済振興のことです。  
しかし、その指針がハッキリとしていないのではないかと感じています。  
その中で特に「雇用創出」というフレーズがとても気になりました。なぜなら現在、私の周辺の企業家からは主に聞こえるのが人手不足…  
県内団体が行った調査では企業の67%が人手が足りないと回答がありました。  
市には雇用創出よりも、スキルアップを含めて企業での働きがいを作ることを手助けできる施策が必要だということをお伝えしました。企業経営に関わった者として今後の那覇市の経済政策には、どんどん意見していきます!



代表質問

### 那覇市の貯金の取り崩しは大丈夫?新市民会館の事業費はどうなる?

平成30年度の那覇市の基金(家庭での貯金)の取り崩しは23億円余りを予定。  
景気と徴税率が向上したこと、ここ数年は予想よりも残高が多くなったのですが、今後の大型事業(市民会館、公設市場)などで支出が見込まれています。  
中期財政計画では収支の改善に向けての取り組みが無かった場合には平成34年からは本当に厳しくなると言われています。  
一括交付金が減額となる中、新市民会館建設の財源内訳が変わってきました。市債(市の借金)が当初の24億円から73億円と50億円も増えます。市が独自で使うことのできる一般財源も5億円から25億円へ変更となる見込みです。  
私はこれだけ変わると事業そのものが異なるものであると感じています。  
市民の税負担が増えるとわかっているなら一度見直すべきであり、ランニングコストもこれまでかかった1億8千万円の倍以上、3億9千万円の収支不足を毎年市民の税金で補填するということです。過去の外部監査でも事業費の負担は大きいと指摘されています。  
目的の一つである中心市街地活性化も当事者の商店街から異論の声があがるなど、本当にこのまま進めることは良いことなのか不安です。  
平成30年度予算は通りましたが、ギリギリまで調査を重ね再検討に向けてあきらめずに取り組みたいと考えています。



## 市長は東京に行ったら何をしているのだろうか?

各市町村長は自治体の事業について関連省庁の国会議員や役人と意見交換や要望を伝えるために上京することがあります。

それぞれの地域発展をかけ、地域益のためには必要不可欠です。

現那覇市長はそのような活動が少ないという意見が聞こえてきましたので、12月議会で指摘したところ、早速12月末には活動をしていただいたようです。しかし本来であれば我々に言われるまでもなく、行うべきことです。活動をしっかり行なっていれば、今議会で取り上げた新市民会館の財源の差異は小さくなっていた可能性があります。

国の予算は8月末には概算要求を取りまとめますので、年末の要請に関しての効果は早くとも30年度の補正予算、または31年度となってしまいます。

市民のため!というならば、国の仕組みをしっかりと活用する必要があります。市と中央官庁の人事交流(相互の出向など)も今後は必要となってくると考えます。



## のうれんプラザがオープン5ヶ月! 市民の反応はいかに?

のうれんプラザは楽しい♪という意見がある一方、利用者からは営業状況がわかりづらい、店子のみなさまからは期待していた売上にとどかない、という意見があります。

市としては、のうれんプラザ商店会からの提案をいただき、頑張るマチグー支援事業でサポートしていく予定のことです。しかし、早急に何かしらの対応をする必要があると思います。隣接県有地においてバスの乗降場を整備するなど、のうれんプラザだけではない周辺の事業所の皆様にも益となるような施策を打っていかなければなりません。

いずれできる周辺の市営住宅、保育所の整備を待っているだけではダメなのです!!



## ワンストップサービスを充実させませんか?

人が亡くなった時には家族は悲しみの中でも煩雑な行政手続きをしなければなりません。いろんなところに書類を取りにいったり、提出したりと結構煩わしいです。

大分県別府市では「お悔みコーナー」なるものがあり、受付で作成した書類を各課で共有してあとは署名と押印だけでOK!

私もこれまでいろんな申請をしてきましたが、「那覇市首里寒川町、新垣淑豊」と書くと120画を超えます。それを何度も書くと疲れることもあります(笑)

そしてお年寄りの中には文字を書くのも一苦労という方もいらっしゃいます。そのような方の負担の軽減にも繋がります。またマイナンバーなどを上手に活用していくべきだ普及にも役立つのではないかと思います。

ワンストップサービスによる効率化は多くの職員負担の軽減にも役立つと思いますので、全庁をあげて全国の先進事例を作っていくべきものです。



### 連載コラム 市議会議員のお仕事とは?

市議会議員の仕事でメインのお仕事…

それは議会です!

当たり前のようにかもしれません、議会を通じて様々な取り決めをしていきます。議会とは市の決まり(条例)を決める、市のお金(予算)をどのように使うかを決める、市の仕事がちゃんとされているかを見つける場です。

那覇市議会で全議員で話し合うのは、最終議決をする本会議とお金について集中して議論する予算決算常任委員会があります。

そして各担当に分かれての常任委員会です(私は現在、総務委員会に所属しています。総務委員会は企画財務部、総務部、消防局、出納

室、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び議会事務局について話を委員会です。那覇市では他にも厚生経済、建設、教育福祉という4つの委員会があります)

各常任委員会で話されたことが本会議で報告された上で議決を取ります。

市民から頂いた陳情や請願という市に対しての要望も委員会で話し合いが持たれます。

2月議会では翌年度の事業の方針と予算についての議論がなされます。

平成30年度は1475億7100万円という一般会計(国民健康保険や介護保険、高齢者医療、市立病院事業、母子父子寡夫への貸付、土地区画整理事業、市街地再開発など特別なもの)を除く)予算を審議しました。

市長側からの案に対し、新文化芸術発信拠点施設整備事業(新市民会館)についての予算をゼロにするという「自民党」「那覇の翼f協働」からの修正案について協議しましたが、修正案は否決・市長側案が賛成多数で可決されました。市民会館の移設について久茂地小学校跡地で進んでいくことになりました。

